

# 幼稚園英語教育についての一調査 —教育効果に及ぼすネイティブ講師の指導と担任のサポート—

松家 鮎美

岐阜女子大学 文化創造学部

(2018年11月16日受理)

## Research for English Education in Kindergarten — Educational Effects of English Classes Conducted by Native English Speakers and Assisted by Japanese Teachers —

Faculty of Cultural Development,  
Gifu Women's University, 80 Taromaru, Gifu, Japan (〒501-2592)

MATSUKA Ayumi

(Received November 16, 2018)

### 要 旨

本研究では、岐阜市内の幼稚園を複数訪問し、英語活動におけるネイティブ講師の指導と担任のサポートが園児の教育効果に及ぼす影響について調査した。現場観察の結果、ネイティブ講師の授業の良否と担任のサポートの良否との組合せによって、園児の授業態度に差が出る事が分かった。ネイティブ講師が授業の雰囲気作りや園児に分かりやすい授業を工夫すると、園児の積極的な授業参加が促されること、それが不十分な講師でも担任がタイムリーに講師の通訳を行い、園児のモチベーションを高めるようなサポートを行えば、教育の効果が大きく高まる事が分かった。

キーワード：初等英語教育、幼稚園英語活動、ネイティブ講師、幼稚園教諭、英語教育の効果

### 1. はじめに

岐阜市のホームページによると、現在岐阜市には公私立合わせて37の幼稚園が開園しており<sup>1)</sup>、そのうち32園で英語教育が行われている。

これらの幼稚園の授業は、外部のネイティブ講師と担任の2名、もしくはネイティブ講師と同じく外部の日本人講師のペアに担任を含めた3名で行われている。32園のうち、後

者は13園で、大半は前者であった。いずれも遊びを通じた英語教育であり、担任や日本人講師は園児の教育効果を高めるために、ネイティブ講師の英語指導をフォローしている。著者は、担任の役割をより明確にするため、ネイティブ講師と担任の2名で行われる授業に焦点を当てて調査を行っている。ただし、遊びを通じた英語活動についての調査のため、生活を通して英語活動を指導するインターナショナル幼稚園は対象に含まない。

松永ら<sup>2)</sup>は、全国の幼稚園を対象にアンケートを実施し、園児が英語に親しみ、英語を楽しめる雰囲気作りにおいて、ネイティブ講師に対する担任の適切なサポートが必要と述べている。そのサポートについて、著者は一つの幼稚園での英語教育現場を観察し、同じネイティブ講師でも担任の支援次第で園児への教育効果が大きく異なることを明らかにした<sup>3)</sup>。

そこで本研究は、複数の幼稚園について、それぞれ指導法が異なるネイティブ講師への担任のサポート状況を調べ、講師の指導の良否とサポートの良否の組み合わせによる教育効果の違いを明らかにする。

## 2. 調査方法

岐阜市内で20年程前から英語教育を行っている私立幼稚園A～Eの5園を選び、年中から年長まで全15クラスの授業を調査対象とした。このうち、CとDの2園は同じネイティブ講師なので、計4名のネイティブ講師に対する15名の担任のサポートと園児の反応の観察を以下の項目についてチェックした。

### a) ネイティブ講師の指導について (6項目):

園児に分かるスピードで話す、園児に分かる語彙で話す、園児の反応を見ている、声大きい、笑顔である、ジェスチャーがある

### b) 担任の授業参加度について (6項目):

全体への声掛けをする、笑顔である、大きく動作をする、適時通訳する、園児と一緒にリピートする、活動全般に加わる

### c) 園児の前向きな反応について (10項目):

元気な声を出している、明るい、笑顔である、前方を向いている、姿勢が正しい、講師の発音をリピートする、大きく動作をする、手を挙げる、発言をする、私語をしない

## 3. 調査結果

### 3. 1 授業形態について

観察したA～Eの5園のクラス担任は全て女性教諭で、授業はネイティブ講師を担当がサポートする様式で行われていた。このうち、All Englishの授業が行われた園はA, B, E園で、日本語を交えた授業はC, D園で行われた。このうちA, B, E園では、園児が講師の言うことをきちんと理解しているかどうかを担当が確認することで、提供するサポートの良否が窺えた。授業時間は園毎に異なり、A園が40分、B～E園が30分であった。

### 3. 2 ネイティブ講師の指導について

ネイティブ講師はオーストラリアやアメリカ等の英語圏の出身であり、幼稚園と直接雇用を結んでいる講師3名と、英会話企業から派遣されている講師が1名であった。以下、各ネイティブ講師について見ていく。

A園の講師は、終始笑顔で親しみやすく、ジェスチャーを伴いながら園児に指示をしていた。しかし、授業中の指示文が長く、且つ語彙が難しかった。また、ゲームやクイズの説明が早口なので、指示が園児に伝わらないままゲームに入ることが多く、クラスによっては担任との連携が取れていなかった。

B園では、講師が園児に分かるスピードではっきり話すため、語彙の難易度が高めでも落伍する園児は見受けられなかった。使用した部屋は教室ではなく広い遊戯室であった

が、講師は常に部屋全体に聞こえる声の大き  
 さで話していたため、例えば英語を繰り返し  
 練習する際、園児も講師の英語をしっかりリ  
 ピートできていた。また、難しい語彙につい  
 ては、ジェスチャーを交えて分かりやすく教  
 えることで、園児の前向きな反応を引き出し  
 ていた。

C, D園を両方受け持っていた講師は、園  
 児の反応をよく見ており、園児が分からなさ  
 そうにすると、すぐに日本語に置き換えてい  
 いた。また、笑顔を絶やさず、時折冗談を交え  
 ていた。授業は教室より広い遊戯室で行われ  
 たが、講師の声は部屋の隅々まで常によく聞  
 こえた。

E園の講師は総合得点が満点であった。授  
 業中、園児にどんな単語をリピートさせるか、  
 どんな指示文を使えば園児に解りやすらかに  
 腐心し、新しく学ぶ単語については、ジェス  
 チャーでそれをイメージしやすいように工夫  
 していた。笑顔だけでなく、顔の表情全体を  
 使ったユーモアたっぷりの授業で園児の目を  
 引き付けた。園児らは英語で話す講師の言葉  
 に真剣に耳を傾け、授業を楽しんでいるよう  
 に見受けられた。

これらの講師の指導状況について2. a)  
 に記した6項目でチェックした結果を表1に  
 示す。

この結果より、ネイティブ講師の教え方  
 ではE園の講師の評価が最も高く、A園の講  
 師の評価が低かった。

### 3. 3 担任教諭のサポートについて

各園各組の担任のサポートは、それぞれ異  
 なっており、次のように要約される。

A園1組の担任はクラス全体への声掛けは  
 少なかったが、園児の見本となって体を動か  
 しリードしていた。2組の担任は終始教室後  
 方で園児を見守り、ネイティブ講師の指示の  
 通訳はしなかった。ゆえに、このクラスでは  
 新しいゲームに戸惑う園児が多く、授業はプ  
 ログラム通り進まなかった。3組の担任は、  
 早口のネイティブ講師の英語を理解できたよ  
 うで、要所所で通訳をしていた。新しいゲー  
 ムを始める際は、園児にどういう行動を取る  
 べきかについての補助説明を行っていた。授  
 業後のインタビューでは、「園児がネイティ  
 ブ講師の英語が分からないと思うので必要と  
 思う箇所に通訳した」とのこと。園児の様子  
 をよく見てサポートしていた。

B園では、ネイティブ講師の指示文が園児  
 にきちんと伝わっており、担任は通訳や補助  
 説明を行う必要がないようであった。実際、1,  
 3組の担任は、発音練習や歌やゲームの時は  
 園児と一緒に体を動かし、机上でワークブ  
 ックをこなす時にはネイティブ講師と机間巡視  
 をし、個別に声を掛けていた程度である。2  
 組の担任も通訳をするのではなく、新しい取  
 り組みの際に「なんだろうね」「できるかな」  
 などと声を掛けて園児の関心を高め、その活  
 動に積極的に参加していた。

C園1組の担任は、園児を見ながら常に声

表1 ネイティブ講師の指導評価

	項目	A 幼稚園	B 幼稚園	C 幼稚園	D 幼稚園	E 幼稚園
1	園児に分かるスピードで話す	△	◎	◎	◎	◎
2	園児に分かる語彙で話す	△	○	○	○	◎
3	園児の反応を見ている	△	○	◎	◎	◎
4	声大きい	○	◎	◎	◎	◎
5	笑顔である	◎	○	◎	◎	◎
6	ジェスチャーがある	◎	◎	○	○	◎
	総合点 (18点満点)	11	15	16	16	18

注) ◎：3点, ○：2点, △：1点 (以下同様)

掛けをし、活動全般に積極的に参加していた。常に笑顔で、ネイティブ講師と一体になって園児を引っ張っていた。2組の担任は、ネイティブ講師の授業を尊重し、静観する立場を取っていた。園児の姿勢の高さに合わせ、終始立て膝で園児を見守り、活動に参加できない園児の世話を行っていた。3組の担任は、活動に加わっていたが、笑顔が少なく表情が硬かった。姿勢の悪い園児や、私語をする園児の躰に努めていた。

D園では、1組の担任は全体への声掛けはしなかったが、園児個々には声を掛け、一緒にリピートするなど活動全般に参加していた。2組の担任は、別業務に追われ、講師へのサポートはできていなかった。3組の担任も別の業務に取り掛かっており、授業前半でのサポートはできていなかった。しかし、後半に園児の活動に加わり、講師のフォローを行っていた。

E園1組の担任は、活動に参加しない園児への注意に努め、園児の様子を観察しながら、時々活動に参加していた。2組の担任は、自ら積極的に活動に参加していた。ネイティブ講師の英語が園児に伝わっていたため、声掛けは少なめにして園児と一緒に活動に参加した。3組の担任も積極的に授業に参加し、園児に英語の意味が伝わっている時でも、声を掛けながら園児をリードしていた。

各担任のサポート状況のチェック結果を表2に示す。これより、A園3組、C園1組、E

園3組の担任教諭のサポートが優れていることが判明した。

### 3. 4 園児の反応について

園児の前向きな授業参加についての観察結果を表3に示す。

どの幼稚園でも、園児は明るく笑顔で、英語を発音する際とても元気な声を出していた。また、歌や踊り、ストレッチなど体を大きく動かすことも楽しんでいった。授業中、姿勢が乱れたり、私語をしたりする園児もいたが、全体として活動を楽しんでいた。

園児の反応が最もよかったのは、C園の1組で、このクラスの園児は、座ってネイティブ講師の説明を聞いている時も、姿勢が崩れることはなかった。また、E園の3組の園児は常に積極的に授業に参加していた。皆笑顔で活動に取り組んでおり、講師から促され挙手をする園児が半数ほどいた。これらのクラスでは、ネイティブ講師と担任の連携がとてもよく、チームで園児をリードしていた。

一方、総合点が低かったA園の2組では、園児の姿勢が乱れることが多く、立って活動する時にも私語をするなど、集中できていない園児が複数おり、担任の適時通訳がなく、講師の発言を理解できていないことが起因していると思われた。授業後半に差し掛かると講師の英語をリピートしない園児も出てきていた。

表2 担任の授業参加度

項目	A 幼稚園			B 幼稚園			C 幼稚園			D 幼稚園			E 幼稚園		
	1組	2組	3組												
1 全体への声掛けをする	△	△	◎	△	○	△	◎	△	○	△	△	△	○	○	◎
2 笑顔である	○	○	◎	◎	◎	◎	◎	○	△	○	○	○	△	◎	◎
3 大きく動作をする	◎	△	◎	◎	◎	◎	◎	△	○	◎	△	△	○	◎	◎
4 適時通訳する	△	△	◎	△	○	△	◎	△	△	△	△	△	△	○	◎
5 リピートする	◎	○	◎	◎	◎	◎	◎	○	◎	◎	△	△	○	◎	◎
6 活動全般に加わる	◎	○	◎	◎	◎	◎	◎	○	○	◎	△	△	○	◎	◎
総合点 (18点満点)	13	9	17	14	16	14	18	9	11	13	7	8	10	16	18

表 3 園児の前向きな反応の程度

	項 目	A 幼稚園			B 幼稚園			C 幼稚園			D 幼稚園			E 幼稚園		
		1組	2組	3組												
1	元気な声を出す	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
2	明るい	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
3	笑顔である	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
4	前方を向いている	◎	△	○	◎	◎	◎	◎	○	△	◎	○	○	○	◎	◎
5	姿勢が正しい	○	△	○	◎	◎	◎	◎	○	△	◎	○	○	○	◎	◎
6	リピートする	◎	○	◎	○	○	○	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
7	大きく動作をする	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
8	手を挙げる	○	○	◎	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
9	発言をする	○	○	○	○	○	○	◎	○	○	○	○	○	○	○	○
10	私語をしない	○	△	◎	◎	◎	◎	◎	○	○	○	○	○	○	◎	◎
	総合点 (30点満点)	26	21	27	27	27	27	29	23	23	27	25	25	25	27	28

#### 4. 考 察

観察結果より、園児の前向きな授業参加、すなわち英語活動の教育効果はネイティブ講師の指導と担任のサポートの仕方でも異なることがわかった。これら三者の関係は、表1～3の評点で幼稚園ごとにグラフ化すると図1のようになる。これで、次の3点が明確となった。1点目は、講師と担任の総点が共に高いペアでは、園児の前向きな授業参加の総点が最も高く、積極的な姿勢が見られること。2点目は、講師と担任のいずれか一方の総点が高いと園児の総点が高水準になること。3点目に、講師と担任の総点が共に低いと園児の総点も低めとなり、教育効果は不十分とみなされる。

このうち、1点目と3点目の結果は当然の帰結である。しかし、2点目の結果は講師の指導力が劣っても担任教諭のサポート次第で授業の質を高められる、すなわち担任のサポート力の重要性をよく示している。

ネイティブ講師の指導力の評点が低くなった主因は、英語による指示が解りにくく園児に対する求心力を損なったことにある。それでも、担任が講師の英語をタイムリーかつ簡明に訳し、時にはジェスチャーを交えて指示をうまく伝えると園児の集中力が高まった。

このように、講師と担任のコラボレーションがうまくできれば、園児の教育の目的に叶う授業となることがわかった。

それゆえ、ネイティブ講師が誰であれ、園児に対して常に効果的な英語教育を行うには、担任が講師の指示や説明を理解できる英語力を身につけ、英語に臆さず講師とコラボレートできることが必要と思われる。

#### 5. ま と め

幼稚園における英語教育の実態とその教育効果について把握するために、複数の幼稚園の年中と年長の計15クラスを観察調査した。

その結果、「英語に親しみ、英語を楽しむ」という教育目的の達成度合は、ネイティブ講師の指導と担任のサポートならびに両者の連携の良否で次のように異なること、さらに優れたサポートの一端を明らかにした。

- 1) 講師の指導力と担任のサポート力が共に低ければ、教育の効果は不十分であるが、両者のいずれか一方が高ければ、相互の補完によって教育の効果はある程度高められる。
- 2) 講師の優れた指導に呼応して、園児がより楽しく学べるように担任が適切なサポートを行えば、教育の効果はより高く

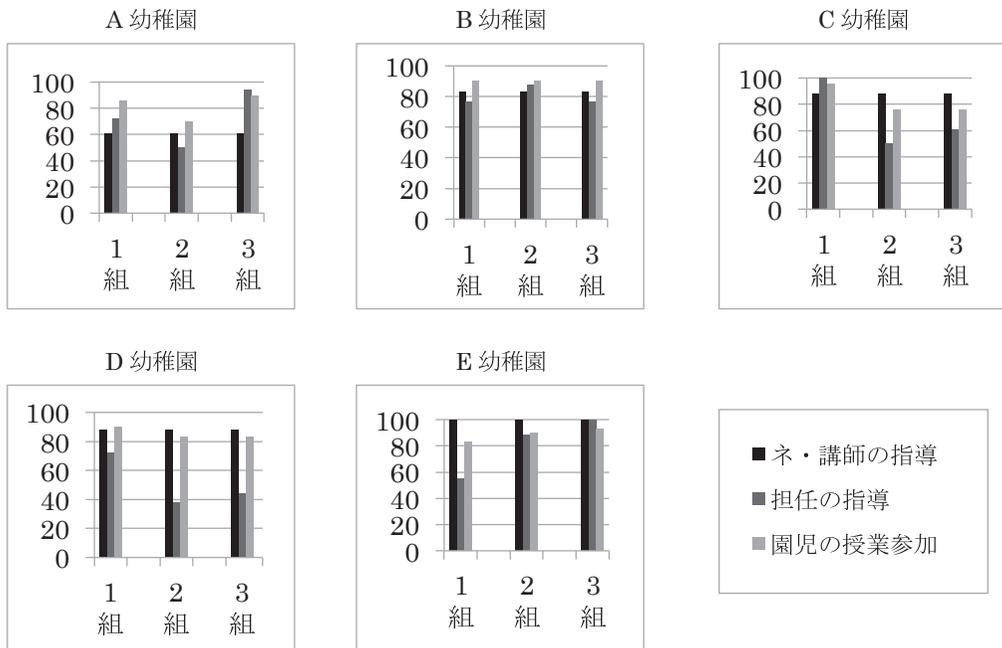


図1 各幼稚園における英語授業の指導と教育効果

なる。

- 3) 優れたサポートとは、ネイティブ講師の英語による指示が園児に解りにくいと察した時に、タイムリーに訳して伝え、ジェスチャーを交えたりして園児の活動をうまくリードするなど、集中力を切らさず夢中で授業を楽しませることであった。
- 4) ネイティブ講師が誰であれ、園児に対して常に効果的な英語教育を行うには、担任が講師の指示や説明を理解できる英語力を身につけ、英語に臆さずに講師とコラボレートできることが必要である。

## 6. 謝辞

本研究の実施においてご協力いただきました幼稚園及び関係の皆様様に心より感謝申し上げます。

## 引用文献

- 1) 岐阜市公式ホームページ, 市内の幼稚園一覧, <http://www.city.gifu.lg.jp/10047.htm>, 2018年6月5日検索
- 2) 松永, 小松, ロバージュ, コミュニケーション能力を高める幼児英語教育のこれから, 長崎短期大学研究紀要, 第21号, 2009年, pp 47-62 [https://ci.nii.ac.jp/els/contents/110009421\\_166.pdf?id=ART0009900153](https://ci.nii.ac.jp/els/contents/110009421_166.pdf?id=ART0009900153), 2018年6月20日検索
- 3) 松家, 幼稚園のネイティブ英語教育における担任教諭の役割についての一調査, カリキュラム開発研究誌, Vol. 3, No. 2, 2018年11月30日

## 参考文献

- 4) 種村, 今村, 2012, 岐阜市内の幼稚園における英語教育の実際, 岐阜大学教育学部研究報告, 教育実践研究, 第14巻, 第1号, 2012年,

- pp 33-44 <http://www.ed.gifu-u.ac.jp/~kyoiku/info/jissen/pdf/140104.pdf>, 2018年6月11日検索
- 5) 横井, 幼稚園の遊びを通じた英語活動における総合的な指導についての一考察, 東海学園大学教育研究紀要, 第1巻, 2017年, pp 155-160 [http://repository.tokaigakuen-u.ac.jp/dspace/bitstream/11334/1425/1/kyo-kiyo\\_001\\_15.pdf](http://repository.tokaigakuen-u.ac.jp/dspace/bitstream/11334/1425/1/kyo-kiyo_001_15.pdf), 2018年6月11日検索
- 6) 横山, 1998, 幼稚園における英語教育の効果についての研究, 九州女子大学紀要, 第35巻3号, 1998年12月11日, pp 1-18 <https://ci.nii.ac.jp/els/contents110005999055.pdf?id=ART0008110974>, 2018年6月20日検索